

北桑田高校 活性化構想(案) ※地域資源と伝統を活かした北桑田でしかできない教育

- ★ コンセプト「学んで良かった」、「行かせて良かった」、「住みたい地域、住んででも行きたい学校」
- 府内唯一の森林リサーチ科と普通科の協働。進路希望に応じたコースとカリキュラムの明確化
- 大都会の近くながら、国定公園に囲まれた豊かな自然と落ち着いた学習環境の中で習熟度別・進路別の徹底した少人数教育
- 自然や地域資源を活かし、地域と連携した体験型授業や活動を通じた人間力の向上と地域創生(地域の活性化に向けた連携)
- 塾や予備校に行く必要なく、校内や家庭で自分の実力や進路に応じた講座が受講できるクラウドシステムやサテライト授業等の導入により、効果的な学習を支援
- 特色ある部活動やネイチャースポーツ等への積極的な取組
- 寮生活、下宿生活等による自立と社会性の習得

公開文化祭(400名以上の参加)

特色ある学科・学習内容

H30年度教育課程の検討中

【森林リサーチ科】1クラス(30名)

- ＜森林探究コース＞…研究・大学進学を目指す
 - ・森林管理、環境、自然科学等、研究・進学重視
- ＜森林資源活用コース＞…実習を重視し、技術、知識を活かした進路を目指し、進学にも対応
 - ・山林管理、木工、デザイン等実習重視
- ※共通…サテライト授業等の導入
 - ・学習支援クラウドシステムや予備校サテライト校の導入により、校内や家庭で個々の時間や進路に応じた学習を支援
- ※府内全域 → 全国募集も検討

【普通科】2クラス(60名)

- ＜文理探究コース＞(30名)…国公立・難関私学への進学を目指す
 - ・徹底した少人数講座によるきめ細かな指導と人間力の向上
 - ・地域や小中高連携による国際教育の充実
- ＜キャリアデザイン(地域・自然キャンパス)コース＞(30名)…様々な体験を通じた人間力の向上と個々に応じた進路希望の実現を目指す
 - ・森林リサーチ科との協働、豊かな自然や地域と連携した体験や学習
 - ・習熟度別少人数講座による個々と向き合った授業と進路指導
- ※共通…サテライト授業等の導入
 - ・学習支援クラウドシステムや予備校サテライト校の導入により、塾や予備校に行かなくても個々の時間や進路に応じた効果的な学習を支援
- ※前期選抜 現在の口丹以北20% → 十京都市・乙訓10%(6名)

10月から講習実施

H30選抜から実施

学習環境・施設の整備構想

関係機関・地元 通機関の整備と調整中

- 寮の整備(女子寮、京北第3小校舎の活用等)
 - 4件下宿申出
- 地域による生徒の受入(下宿)等
- クライミング(ボルダリング)施設の整備※地域や一般も利用
 - 整備検討中
- 木工工芸棟の一層の整備(授業、体験、多方面からのニーズに対応)

特色ある授業・活動

- ①地域等との連携 ※学校活性 = 地域の活性
 - ・小中高連携・地域創生プロジェクト・地域等団体・大学等(府大・京大・林業大学校・植物園等)
 - ・鳥獣被害に係る「わな猟」免許取得の取組
- ②自然や地域資源の活用
 - ・自然観察・林業体験・農業体験・アウトドア・環境緑化・環境調査・ツーリズム・乗馬・つり
- ③学科や学校の特色
 - ・ドローン操作、自転車、クライミング

18歳以上で希望者に対応検討

ドローン活用した授業を実施

悠久の森・悠久の灯プロジェクト

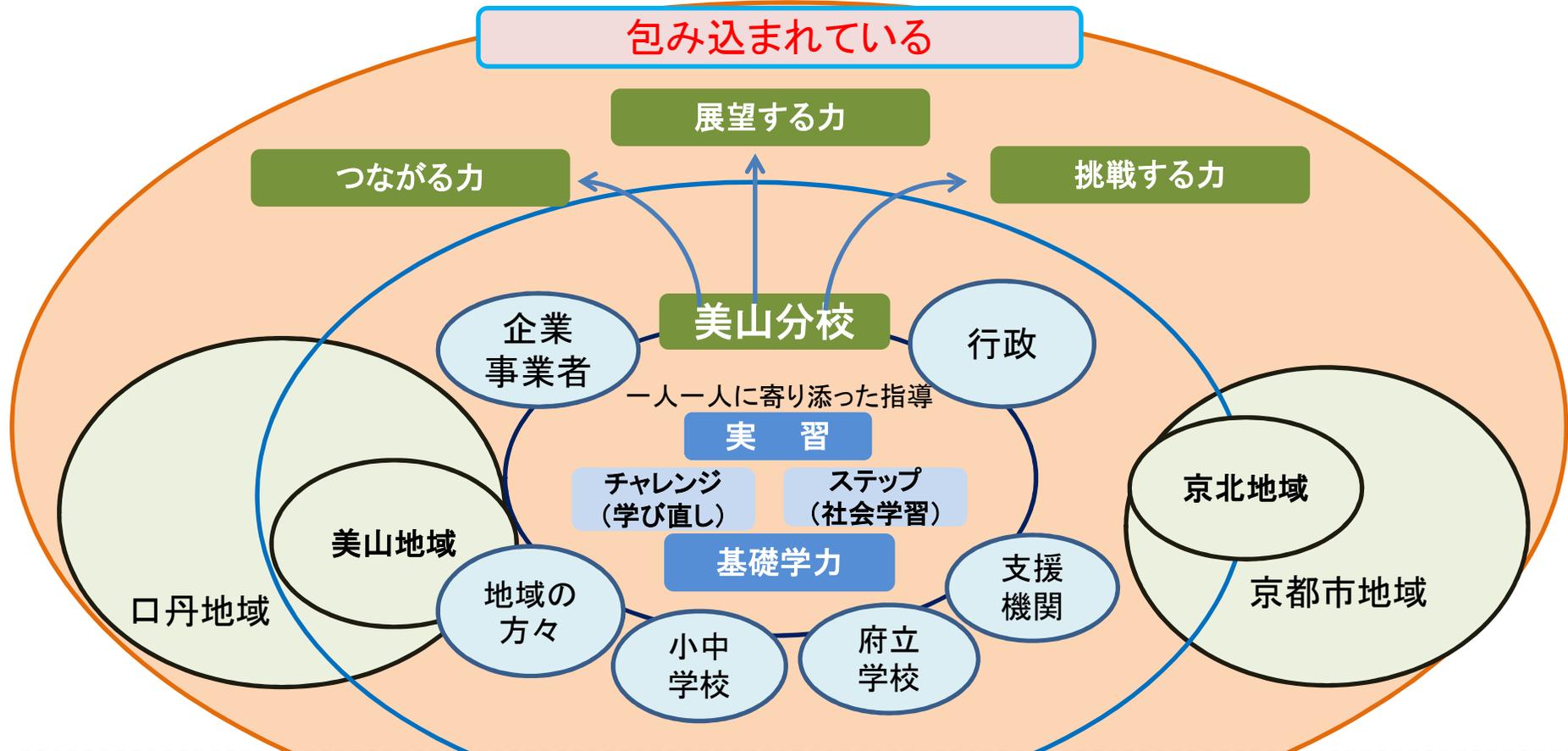
特色ある部活動等

- ①地域との連携や伝統を活かす
 - 自転車、野球、陸上、剣道、吹奏楽
- ②自然や地域資源を活かす
 - 山岳(クライミング)、トライアスロン、馬術等
- ③学科の特色を活かした活動等
 - 木工、ドローン、地域ガイド、乗馬等

各競技団体との連携を相談中

ビームライフル射撃の体験を計画中

北桑田高校 美山分校の現在の役割と必要性



【現在の美山分校の役割】 ※多くの方々に守られ、包み込まれ、成長していく

- ・ 定時制（昼間4年）「支え合い、励まし合いながら、ゆっくりじっくり学ぶ」
※全日制と同じように登校し、夜間定時制やフレックスとも違い、ゆっくりとした学びが主で職業が従である環境
- ・ 多様な発達過程にある者が、豊かな自然や実習教科をとおし、自信と自立できる力をつけ社会につなぐ
- ・ 少人数で一人一人に寄り添った手厚い学習・生活・進路指導により、退学も欠席も少ない
- ・ 地域の学校として根付き、地域の方々や学校、事業者、行政に包み込まれ、成長していく

【美山分校の教育内容の必要性】 ※口丹地域唯一の定時制及び教育内容

★ 想定生徒像

- 定時制（昼間4年）を活かし、働きながらじっくりゆっくりと自分の進路を考え、キャリアを身につけたい者
- 学習活動に遅れが見られたり学習機会が不十分であった事などで、今後もゆっくりと学習を続けたい者